

こうしゅつ

市議会広報

- 特集① 平成28年度各会計決算を審査 P2～
 - ・一般会計歳出は179億9,529万円を認定
- 市民フォーラム「秋の楽しみ」 P7
- 特集② 9月定例会レポート 議案の審議結果 P8～
 - ・条例案など39件を審議
- 輝く甲州市民 P12
- 一般質問 8人の議員が市政を問う！ P13～
- 常任委員会レポート P22～

48号

2017.10.31 発行
山梨県甲州市議会

護摩木に聖火が灯る

 マチイロ

マチを好きになるアプリ



※広報紙をスマートフォンやタブレットで

決算

一般会計

まちづくりへの予算執行を問う 歳出は179億9529万円を認定

一般会計とは、福祉、衛生、土木、教育など、市の運営に関する基本的な経費を計上している会計で、市税や地方交付税を主な歳入としています。

平成28年度の各会計決算は、9月15日・19日・20日・21日の4日間、一般会計等決算審査特別委員会および公営企業会計等決算審査特別委員会を開催して審査を行いました。各特別委員会では慎重審査の結果、全ての会計を「認定すべきもの」と決しました。審査の内容を要約してお伝えします。

都市計画税

課税停止の延長を検討

歳入

問 給食費負担金について、収入未済額が平成27年度は約69万円だったが、28年度は約108万円と増えている。この解決策について、考えを問う。

答 納付勧奨を行うとともに、学校から協力を得ながら収納に努めていきたい。
問 ごみ処理手数料の内容を問う。

答 事業系可燃ごみ手数料が4119万円、家庭系粗大ごみ手数料が329万円などである。

問 平成28年度から都市計画税が課税停止となっているが、今後の考えを問う。

答 現在、都市計画事業は下水道事業だけであり、また、新たな都市計画事業の計画もないため、来年度以降も課税停止する方向で検討している。

歳出

■総務費

問 市ホームページと移住ポータルサイトの更新頻度を問う。

答 市ホームページは、平成28年4月から12月までの間で、月平均31・4回更新された。移住ポータルサイトは、おおむね10日に1回の頻度で更新している。
問 地籍調査未実施地区

はあるのか。

答 未実施地区の面積は約24平方キロあり、計画的に調査を行っていく。

問 結婚相談所の実績を問う。

答 平成28年度は24回開設し、68件の相談があった。
問 職員ストレスチェックの実施状況を問う。
答 臨時職員を含め全職員を対象に実施し、平成28年度は510人が受けた。

■民生費

問 家庭相談件数を問う。
答 平成28年度実績で77件である。

問 虐待の情報収集など関係機関との連携体制を問う。

答 学校や保育園などから情報を提供してもらい、関係機関と協議しながら対応策を講じている。

問 生活困窮者自立支援事業の成果を問う。

答 就労支援を行い、平成28年度は12人が就労した。

■衛生費

問 東山聖苑の斎場建設、運営負担金5624万円の内容を問う。また、いつまでこの負担が続くのか。

答 斎場建設費が4586万3000円、運営費が1037万7000円である。毎年同額ではないが、この負担は平成32年まで続いている。



「個性と魅力に溢れたまちづくり」のさらなる推進に一般会計からは約179億円が支出された

農産物の海上輸出

評価を得たが課題も残る

■商工費

問 レンタサイクルについて、利用料収入で経費を賄うことができるような、料金設定が必要だと考えるが、いかがか。

答 事業開始から1年しか経過していないため、今後の状況を見ながら検討していきたい。

問 レンタサイクル使用料205万7000円の内容を問う。

答 利用管理のためにレンタルサイクルに搭載しているGPSシステムの使用料である。

■農林水産業費

問 増額補正をしたにもかかわらず、執行率が80・9割と低いのはなぜなのか。

答 地域おこし協力隊員の採用に至らず、その部分の予算が残ってしまったこと。また、事業の実施過程で見積もりより安価な手法で対応できたものがあり、当初の見積もりが甘かったことが原因だと考えている。今後は事業内容等を精査し、このようなことがないように対応していきたい。

問 原産地呼称ワインの総本数が、平成27年度と比べ

て格段に減った理由を問う。

答 天候不順の影響で基準糖度に達しないブドウが多かったためである。

問 リーフアールコンテナを活用した農産物の海上輸出の状況を問う。

答 香港とマレーシアに輸出し、一定の評価を得たが、果実の傷みや箱が潰れるなどの課題も残った。今後、課題点を改善して事業を進めていきたい。

■土木費

問 ふれあいの森総合公園の維持管理をシルバー人

勤労青少年ホーム 今後の方向性は

材センターに委託しているが、どのような作業を委託しているのか。

答 清掃作業や除草作業等を委託しており、平成28年度は清掃作業を12回、除草作業を7回実施した。

■労働費

問 勤労青少年ホーム（レックセンター）の老朽化への対応を問う。

答 耐震診断を実施した結果、体育館の老朽化が進んでいるとの報告を受けた。今後、運営協議会と協議しながら施設の方向性を決めていきたい。

問 テニスコートの経年

■消防費

問 消防団員用安全靴は全団員に行き届いたのか。

答 平成26年度から3年にわたって購入し、全団員分を揃えることができた。

■教育費

問 英語指導助手と子ども支援スタッフの人数を問う。

答 英語指導助手が6人、子ども支援スタッフが26人である。



観光資源になるとともに駅からの二次交通手段となっているレンタサイクル



原産地呼称ワイン認証制度審査会の様子。平成28年度は16銘柄が認証された



勤労青少年センターのテニスコート。表面の色の違いは継ぎはぎ補修によるもの

※内部を一定温度に保つ設備をもつコンテナ。冷凍・冷蔵の必要がある食品や医薬品などの輸送に利用される

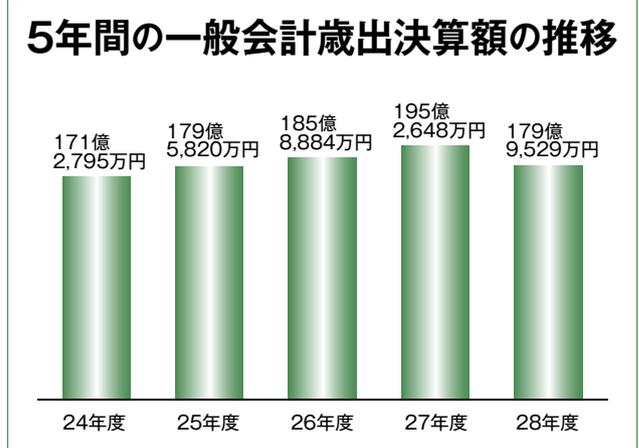
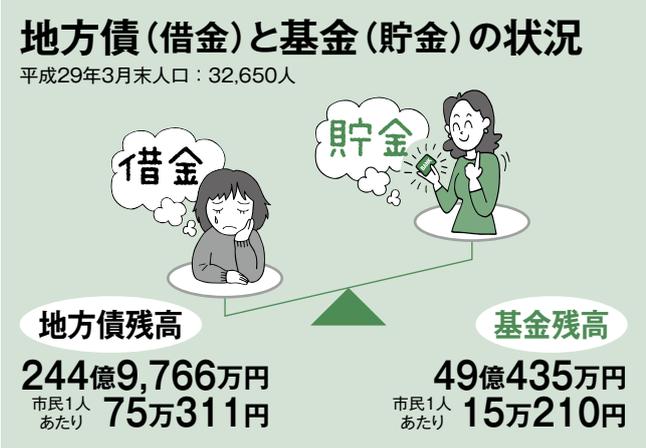
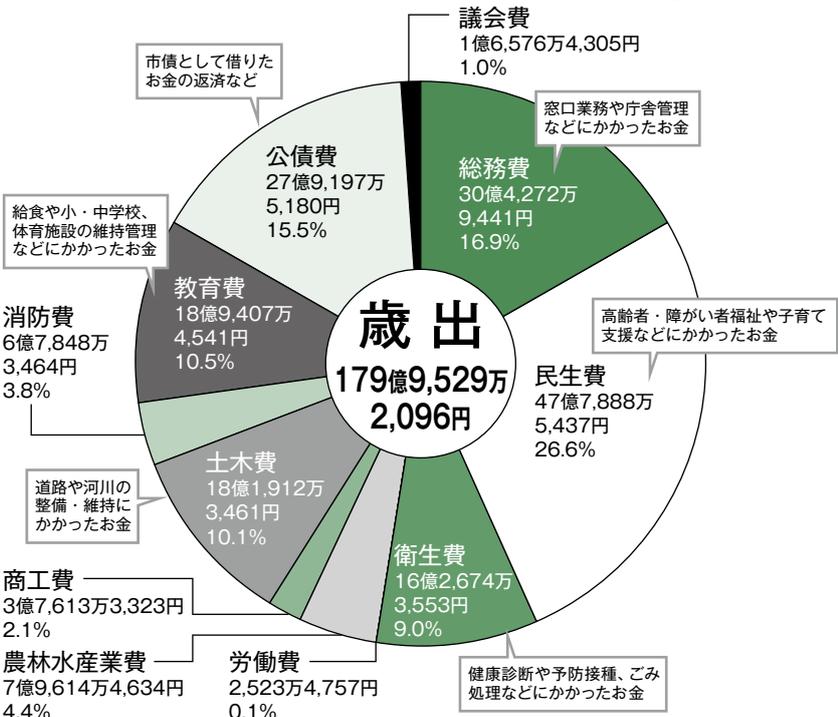
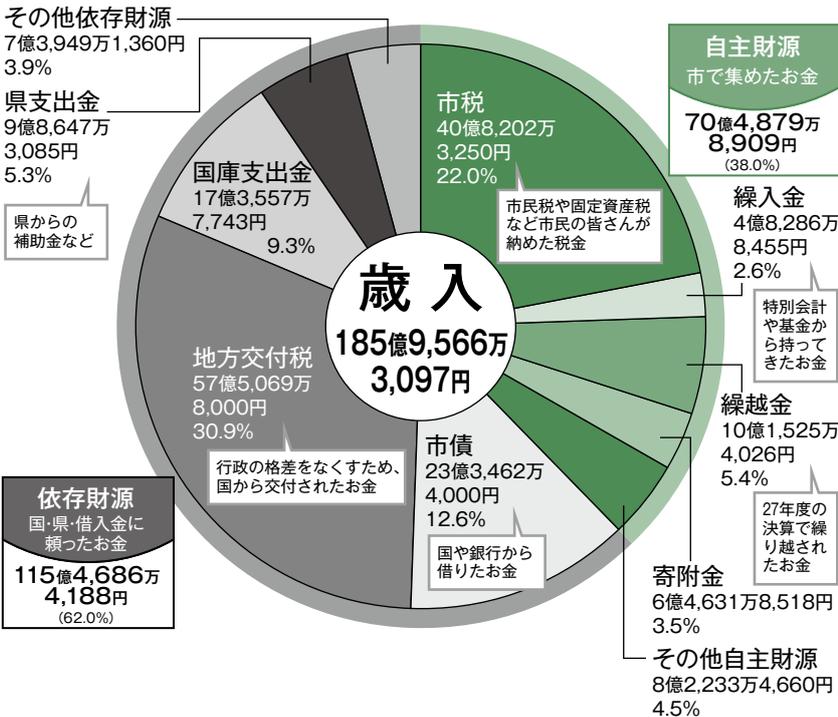
平成28年度

一般会計決算の内訳

一般会計歳入決算額は185億9,566万3,097円、歳出決算額は179億9,529万2,096円で、歳入歳出差引額は6億37万1,001円となりました。歳入のうち市税について

は、都市計画税が平成28年度から課税停止となったことにより、約40億8,202万円で前年度比3・3割の減となりました。県支出金については、雪害対策事業の終了などにより、約9

億8,647万円で前年度比47・1割の減となりました。また、歳出のうち商工費については、宮光園整備事業の終了などにより、約3億7,485万円で前年度比42・1割の減となりました。



特別会計・企業会計

訪問看護事業

初の財政調整基金取り崩し

■訪問看護事業

問 財政調整基金からの繰り入れはいつから始めたのか。また、基金残高はいくらなのか。

答 基金を取り崩し、繰入金としたのは平成28年度が初めてである。また、取り崩し後の基金残高は1億6699万円である。

■診療所事業

問 大藤診療所に職員6人を配置しているが、多すぎるのではないか。

答 薬剤管理や医療事務の必要性から6人を配置しているが、職員体制については今後検討していきたい。

■後期高齢者医療

問 滞納繰越分の徴収率が高く、評価するところではあるが、どのような取り

組みを実施しているのか。

答 電話による催告や戸別訪問による徴収を通じて納付相談を実施し、できるだけ滞納者が発生しないよう努力している。

■介護保険事業

問 不納欠損処理の方法は各課で統一しているのか。

答 介護保険法に基づき2年経過後に不納欠損処理を行ったが、収納課や国保

年金課とともに改めて検討していきたい。

問 不用額が多いが、しっかりとした根拠に基づく予算要求、補正予算の計上は行われていたのか。

答 介護給付費については、昨年度の同時期における実績と、利用者数の上昇を考慮して補正予算を計上したが、利用者数に毎月の増減があり、不用額が発生してしまった。



初の基金取り崩しを行った訪問看護事業。サービスの継続的な維持が求められる

■居宅介護予防支援事業
問 臨時職員2人の職種を問う。
答 介護支援専門員1人とケアマネージャー1人である。

ジェネリック医薬品 使用率が向上

■国民健康保険事業
問 不納欠損額が4843万円、収入未済額が1億3697万円計上されているが、件数を問う。

答 不納欠損件数は38

特別会計とは、特定の歳入を特定の歳出に充てるため、一般会計と区別して設けられる会計です。企業が運営する企業（公営企業）の会計です。

0世帯で2118件である。また、収入未済件数は429世帯で5848件である。

問 ジェネリック医薬品の使用率は前年度と比較して伸びているのか。

答 平成28年度実績は院内薬局分が55・6割、調剤薬局分が58・6割、全体で57・9割の使用率であり、前年度と比較して10ポイント増加している。

■下水道事業

問 浄化槽設置費について、不用額が534万円発生しているが、理由を問う。

答 年間30基の設置を目標に予算を計上したが、新築住宅の伸び悩みから昨年は5基のみの設置であったためである。

■簡易水道事業

問 塩山東部玉宮地域と勝沼北部地域の整備事業の進捗状況を問う。

答 塩山東部玉宮地域は約80割、勝沼北部地域は約86割の進捗率である。

※自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足した年に使用する貯金のようなもの

平成28年度 特別会計の決算額

■ 国民健康保険事業	歳入	49億 635万8,401円
	歳出	48億7,856万8,757円
■ 診療所事業	歳入	7,914万9,986円
	歳出	7,811万5,238円
■ 後期高齢者医療	歳入	3億7,826万7,970円
	歳出	3億7,622万8,490円
■ 介護保険事業	歳入	36億4,620万9,503円
	歳出	36億 33万6,037円
■ 居宅介護予防支援事業	歳入	2,080万5,582円
	歳出	1,639万4,869円
■ 訪問看護事業	歳入	4,681万9,251円
	歳出	4,636万5,860円
■ 下水道事業	歳入	13億8,648万4,497円
	歳出	13億8,609万3,627円
■ 簡易水道事業	歳入	7億 848万4,616円
	歳出	7億 660万2,479円
■ 大藤財産区	歳入	509万9,224円
	歳出	282万 302円
■ 神金財産区	歳入	690万6,685円
	歳出	530万6,283円
■ 萩原山財産区	歳入	1,762万6,366円
	歳出	1,586万8,859円
■ 竹森入財産区	歳入	95万8,293円
	歳出	48万6,372円
■ 岩崎山保護財産区管理会	歳入	48万4,924円
	歳出	32万7,172円

平成28年度 企業会計の決算額

■ 水道事業	事業収益	4億7,394万 844円
	事業費用	4億2,548万2,304円
■ 勝沼ぶどうの丘事業	事業収益	9億6,441万6,414円
	事業費用	9億5,682万2,736円
■ 勝沼病院事業	事業収益	2,393万3,451円
	事業費用	2,388万5,472円



地域医療の拠点として医療体制の強化が求められる

勝沼病院事業

医療体制強化に向け協議を進める

■ 勝沼病院事業

問 前年度と比較して病床利用率が上昇しているが、今後の経営見通しを問う。

答 平成30年度に診療報酬の改定が予定されており、診療報酬の落ち込みが予想されることから非常に厳しい状況である。

問 医療体制について、常勤の内科医がいらないことは致命的な痛手ではないか。

答 医師不足の状況で改

善されていないが、医師の確保について引き続き指定管理者と協議していく。

■ 水道事業

問 利益剰余金の金額を問う。

答 平成28年度に生じた純利益約4000万円を積み立てると、合計で約4億5691万円となる。

問 今後の、管きよに布設替への必要が生じた場合に、

対応できる資金はあるのか。

答 事業全体の予算のうち、約8000万円を工事費に充てることができると、老朽管の布設替えや施設の更新なども考えながら事業を進めていきたい。

問 固定資産除却費459万円の内容を問う。

答 固定資産を破棄処分した際に発生した損失を計上するもので、配水管の布設替えや耐用年数を経過し

た配水管の撤去にかかった費用である。

■ 勝沼ぶどうの丘事業

問 随意契約が多い理由を問う。

答 冷蔵庫やボイラーなどの点検は購入業者でないとなし難いためである。しかしながら、他の業者から見積書を取っており、高額の契約については毎年見直しを行っている。

問 部門別の収益や利益率を把握する資料を作成することで、経営に資すると考えるが、いかがか。

答 新事業の展開や不採算部門の検討に向けて必要となるため、作成していく。

問 経費削減についての考えを問う。

答 委託業務の見直しや人員の適正配置など総合的に考慮し、経費削減に努めていきたい。

問 利益率が0・58割だが、どのように評価しているのか。

答 修繕費が前年度より500万円ほど増加しており、その分利益が落ちたと考えている。しかし、訪問客の安全性を確保するためにも修繕は進めていく。



甲州林道走行

勝村文一さん（塩山下塩後）

私は昔から鉄馬乗り。一年を通し乗るが秋が最も良い。気温と盆地を囲む山々の紅葉である。以前は舗装された道を大きな馬で走っていたが、もう一頭飼う事になる。こいつは中位で凸凹道も関係ない。何処でも行ける。遠目で見ている山林の元へ短時間で移動できる。途中猿や鹿、時々蛇と自然豊かな山中を走る。眼下には豆粒大の家や車が走る。一寸一服。私は愛煙家で世間の嫌われ者。だけど山中は携帯灰皿があれば遠慮はいらぬ。斜面上を見ると熊！ヤバイ不覚、奴の間合いだ。あれ違った。笹の奥に折れた大木だった。こんな山中、道から墜ちれば救急隊も難儀する。でも楽しい。オートバイは人に勧めるものではないと言つ。乗る者は覚悟して乗るべし。



秋の楽しみ二つ三つ

三枝照子さん（大和町初鹿野）

私の秋の楽しみは、大和小学校、中学校、保育所の運動会や学園祭、マラソン大会を見ることです。保育士を辞めて数年経ちますが、今は益々楽しみです。子ども達の成長や変化が嬉しく、懸命な本気の姿がとても好きです。そして、その姿から元気をもらっています。幼少期おとなしかった子も、元気に活動に取り組んでいたリ、リーダーで頑張っている子、自分の役割を堅実にこなしている姿に感動します。もうひとつの楽しみは、山々の紅葉です。私は、新緑の頃、大きくふくらんでいるように見える大和の山々が大好きです。そんな風景を楽しみに見る紅葉も癒しのひとときです。落ち葉掃き、やきいもを焼きましょうか。



今回はどんなフットパス！

廣瀬かほるさん（塩山福生里）

「地域を巡る」という研修会が市の主催で開かれたのは7年前だったでしょうか。ちょうどどこに参加していた数人で自分達の地域のコースを作ろうという事になり、多くの人が集まりました。初めはガイドブック作りでした。地域を歩いて巡り、大先輩方に歴史や昔の話を聞くのはとっても楽しい事でした。ざぜん草が咲く頃、桃の季節、そして実りの秋と、ガイドブックのコースを元に、その時々を楽しみを取り入れ、参加者に喜んでもらえる様な企画を皆で考えます。このフットパスには、甲州市内はもちろん、市外から、時には県外からの参加者もいます。「今日は楽しかったですよ。」の一言が喜びであり、これが皆の秋の楽しみになっています。



秋は月

杉田由之さん（勝沼町勝沼）

「春は花、夏ほととぎす秋は月、冬雪さえて冷しかりけり」道元禅師の詠まれた歌にもあるように「秋は月」がいい。普段の晩酌は、ビールなのだが、秋の月を見るとなぜか、日本酒が恋しくなる。陽が沈むと同時に満月が昇る。月を見ながら、おもむろに猪口を口に運ぶ。至福のひと時。翌日から、十六夜、立待月、居待月、夜待月と月の出が遅くなるにつれて、重ねる杯の数も増え、いつしか舟を漕ぎ出す始末。妻に起こされて窓の外に目をやると、欠け始めた月が、ぶどうの丘の上に懸かっている。家で日本酒もいいが、ぶどうの丘でワインもいいかもしれない。そんなことを思いながら、深い眠りに落ちる。秋の夜の楽しみ。

9月定例会レポート
議案の審議結果

平成29年甲州市議会9月定例会は、8月29日から9月25日までの28日間の会期で開かれ、平成28年度各会計決算や平成29年度一般会計補正予算案、条例案、人事案、議員発議案など39件の事件について慎重な審議を行いました。主な議決内容を要約してお伝えします。

（審査の詳細は22頁からの常任委員会レポートを参照）

条例案など39件を審議

29年度一般会計予算 総額は164億円余に



各常任委員会、決算審査特別委員会を含め、28日間の会期で開催された9月定例会

◆市税条例等の一部改正は、平成29年度税制改正大綱を踏まえた地方税法の一部改正に伴い、法人市民税にかかる法人税割の税率を引き下げるほか、所要の改正及び規定の整備を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆平成29年度一般会計補正予算(第2号)は、2412万2000円を追加し、

歳入歳出をそれぞれ164億2329万5000円としました。主な歳出内容は、農林水産業費として農業振興一般経費等に4404万5000円、教育費として保健体育総務諸経費等に1552万3000円を

追加し、衛生費は診療所特別会計繰入金等を1181万6000円、土木費は職員給与費等を460万3000円減額するものです。

◆平成29年度診療所事業特別会計補正予算(第1号)は、913万円を減額し、歳入歳出をそれぞれ5283万4000円としました。歳出として、総務費を913万円減額し、歳入として、繰入金と同額減額するもので、可決しました。

◆平成29年度勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算(第1号)は、収益的支出として営業費用に42万9000円を追加し、資本的支出として建設改良費に339万4000円を追加するもので、可決しました。

◆平成29年度訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)は、653万7000円を減額し、歳入歳出をそれぞれ4663万8000円としました。歳出として、サービス事業費を653万7000円減額し、歳入として、繰入金と同額減額するもので、可決しました。

追加し、衛生費は診療所特別会計繰入金等を1181万6000円、土木費は職員給与費等を460万3000円減額するものです。主な歳入内容は、地方交付税に3375万5000円、国庫支出金に883万9000円追加し、繰入金3381万7000円、市債を2900万円減額するもので、可決しました。

◆平成29年度勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算(第1号)は、収益的支出として営業費用に42万9000円を追加し、資本的支出として建設改良費に339万4000円を追加するもので、可決しました。

6月定例会に続き 議員定数削減は継続審査へ



定数削減について慎重審査を行った市議会議員定数検討特別委員会

◆市議会議員定数条例の一部改正は、議員定数を18人から16人に改めるもので、6月定例会において議員発議として提案があり、起立採決の結果、継続審査とすることに決しました。

本発議案の審査を付託された市議会議員定数検討特別委員会は、6月定例会閉会後から9月25日までの間に委員会を2回開催し、審査を行いました。

委員会審査では、「定数削減を市民が望んでいる」との意見があった一方、「市民の声が市政に反映されにくくなる」などの意見が出されました。なお、発言の終結にあたり、継続審査を求める意見が出され、起立採決の結果、継続審査とす

べきものと決しました。

9月25日の本会議では、委員長報告に対して討論、本発議案に対して採決が行われ、起立採決の結果、賛成多数で継続審査とすることに決しました。

■委員長報告

廣瀬宗勝 本発議案は起立多数により継続審査すべきものと決した。

しかしながら、少子高齢化など地方を取り巻く社会経済情勢が転換期を迎える状況下において、議員定数の適正な水準とその根拠を客観的に検討していく必要があること。また、議会の機能をさらに高めていくために、これからも努力を続けていかなければならないとの認識では一致した。

核実験・ミサイル発射を受け 北朝鮮に抗議する決議を可決

◆北朝鮮の核実験並びにミサイル発射実験に抗議する決議は、核実験やミサイル発射実験を繰り返す北朝鮮に対して、平成18年6月に「核兵器廃絶平和都市宣言」を議決している甲州市

議会として断固抗議するとともに、日本政府に対して国際機関との連携強化と、必要な措置を講じ平和を守り抜くことを強く求めるもので、全会一致で可決されました。

北朝鮮の核実験並びに ミサイル発射実験に抗議する決議

北朝鮮は、これまで6度の核実験を実施するばかりでなく、日本上空を通過する中距離弾道ミサイルをはじめとする発射実験を繰り返し、日本を含む隣国ならびに世界各国に対して重大な脅威となっている。

全ての国の核兵器が廃絶され、永遠の世界平和が確立されることを強く願い、平成18年6月に「核兵器廃絶平和都市宣言」を議決した甲州市議会として、国連安全保障理事会の決議をほごとする北朝鮮の暴挙を断じて許すことはできない。

よって、甲州市議会は、市民の生活と安全を脅かす北朝鮮の行為に断固抗議するとともに、日本政府に対し、国際社会および国連をはじめとする国際機関と緊密な連携強化と、わが国の主権と国民の生命財産を断固守り抜くためにも、冷静かつ毅然とした態度で必要な措置を講じ、平和を守り抜くことを強く求める。

議案の審議結果

平成28年度の

各会計決算を認定

◆平成28年度一般会計、特別会計及び企業会計の各会計決算は、決算審査特別委員会に付託し、慎重審査の結果、原案のとおり認定しました。（詳細は2ページから6ページの決算特集を参照）

◆平成28年度一般会計歳入歳出決算は、歳入総額が185億9566万3097円、歳出総額が179億9529万2096円となりました。本会議では「認定すべきもの」として一般会計等決算審査特別委員長

の報告に異議が出されませんが、討論・採決の結果、賛成多数で認定しました。

■委員長報告に反対討論
川口信子 商店街活性化に28万円、空き店舗対策に18万円しか支出しておらず、本当に商店街を活性化させる考えがあるのか。また、市職員の雇用形態では依然として非正規労働者が

減っていない。各分野で評価すべき面もあるが、これらの理由から決算を認定することはできない。

◆平成28年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算は、歳入総額が7億848万4616円、歳出総額が7億660万2479円となりました。本会議では「認定すべきもの」として公営企業会計等決算審査特別委員長

の報告に異議が出されませんが、討論・採決の結果、賛成多数で認定しました。

■委員長報告に反対討論
野尻陽子 急激な人口減少が予測されるなか、簡易水道事業のあり方が問われている。この決算には総事業費約18億円の小田原地域整備事業と、約33億円の勝沼地域整備事業が含まれているが、人口減少時代に適応しない事業だと考える。よって、決算を認定するこ

とはできない。

2件の意見書を 関係省庁に提出

◆30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願は、①学級規模を30人以下とすること。②国負担割合を2分の1に還元すること。③国における教育予算を拡充すること。についての意見書を提出することを求めるもの

で、全会一致で採択され、関係省庁に意見書を提出しました。

◆子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願は、①子どもの歯科矯正における保険適用の拡充を図ること。②歯科矯正に対する保険適用基準の見直しの検討および実施。についての意見書を提出することを求めるもので、全会一致で採択され、関係省庁に意見

書を提出しました。

◆市公平委員会委員に、赤松弘和氏（75・塩山下塩後）を選任することに同意しました。

◆固定資産評価審査委員会委員に、中村猛氏（83・塩山上於曾）、内田定男氏（76・勝沼町小佐手）、佐藤眞一氏（68・大和町初鹿野）を選任することに同意しました。

議会トピックス



峡東3市の議員が合同研修 世界農業遺産について学ぶ

本年3月に峡東地域の果樹栽培が日本農業遺産に認定されましたが、世界農業遺産国内候補地への承認は見送られました。

県と峡東3市では世界農業遺産の認定を目指して再申請する方針を決めており、議会としても世界農業遺産についての理解を深めるために研修会を企画しました。開催日の8月10日には合同開催の呼び掛けに応じた山梨市議会と笛吹市議会の議員も出席し、県の担当者から講義を受けました。



輝く甲州市民



ふるや ひなこ
古屋 日奈子さん 塩山千野（14歳）

（笑顔つなく愛媛国体 少年女子B走り幅跳び6位入賞）

- Q** 国体に出場した感想を聞かせてください。
A トップ選手が大勢いていろいろな経験ができて楽しかったです。
Q 陸上をやっていて楽しいことは何ですか。
A 自己ベストが出たときに嬉しいです。
Q 今、目標にしていることは何ですか。
A ジュニアオリンピックで200mに出場するので、最低でも準決勝には残りたいです。

つちや のぞみ
土屋 希望さん 塩山小屋敷（13歳）

（第39回少年の主張県大会で最優秀賞）

- Q** スピーチで一番伝えたかったことは何ですか。
A 障害者を差別の目で見のではなく、違う視点や考え方で見てほしいということです。
Q スピーチをした感想を教えてください。
A 練習はあまりできなかったけど、同級生や親のアドバイスを生かすことができました。
Q 今、目標にしていることは何ですか。
A 中間テストと部活の新人戦があるので、両方怠らずに文武両道で頑張りたいです。



ひろせ ななさ
廣瀬 七彩さん 塩山千野（15歳）

（笑顔つなく愛媛国体 少年女子B100m、4×100mリレー出場）

- Q** 国体に出場した感想を聞かせてください。
A お祭りみたいでワクワクしました。また、周りの選手が大きく見えたけど、負けずに走ることができました。
Q 陸上をやっていて楽しいことは何ですか。
A きつい練習をやり切った達成感と決勝で良い記録が出たときです。
Q 今、目標にしていることは何ですか。
A ジュニアオリンピックで普段どおりの走りがしたいです。



8人の議員が 市政を問う!



一 般 質 問

9月定例会では、産業・教育・福祉・防災・環境・基盤整備など市政全般にわたり、9月7日・8日の2日間、一般質問が行われました。
それぞれの内容を要約してお伝えします。

1	廣瀬 明弘 議員	政和クラブ	14ページ
2	矢野 義典 議員	公明党	15ページ
3	川口 信子 議員	日本共産党	16ページ
4	平塚 義 議員	甲輝会	17ページ
5	相澤 俊行 議員	希望の風	18ページ
6	夏八木盛男 議員	政和クラブ	19ページ
7	中村 勝彦 議員	政和クラブ	20ページ
8	野尻 陽子 議員	甲州世直しやるじゃん会	21ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。
掲載・発行はいずれも12月上旬の予定です。



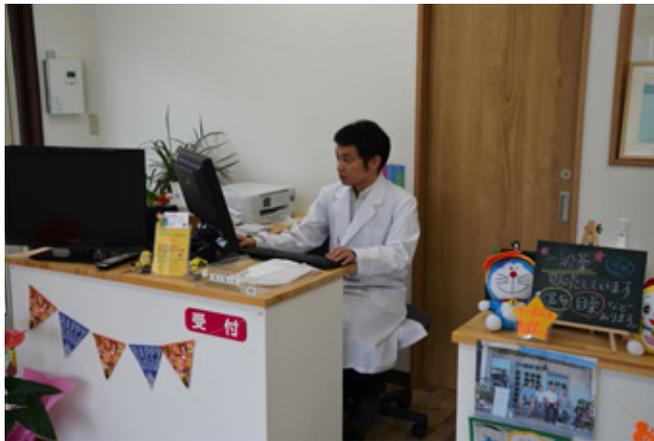
会議録検索
システム

廣瀬明弘議員

政和クラブ



空き店舗対策費補助金制度(市HP)



空き店舗対策費補助金制度を活用して本年度に開業した薬局の様子

Q 商工業活性化に向けた取り組みは
A 各種補助制度の見直しを行った

問 にぎわいあるまちづくりには、商工業の活性化が必要だと考える。市が力を入れており、経済効果が期待できる取り組みを問う。

答 平成28年度に商工会等と連携した事業者支援機関連絡会を設置し、商工振興資金貸付制度の見直しを

行った。その結果、例年10件程度だった利用が20件を越える状況となった。また、空き店舗対策費補助金制度の見直しを行い、29年度に1件の開業があった。

問 女性経営者への起業支援について、考えを問う。

答 国や県では女性を対象とした起業セミナーを開催しており、本市でも開催できよう検討していきたい。

問 高校生の取り組みが地域活性化に貢献している例を耳にする。若い力をどのように取り入れていくのか、考えを問う。

答 本市では塩山高校の生徒たちに、甘草の商品化に向けたアイデアの提供など協力していただいている。また、商工振興計画策定に向けてワークショップを開催するため、高校生や大学生の意見を計画に反映していきたいと考えている。

問 各課との連携体制は

答 各課との連携体制は

問 どのようになっているのか。

答 農業、ワイン、観光振興などさまざまな分野と連携して事業に取り組んでいる。また、今年度、企業立地の促進等を目的に関係諸法が改正されたため、都市整備課や税務課とも連携して対応していきたい。

問 子育て世代の移住先となることで、人口対策と地域経済の発展につながるかと考えるが、見解を問う。

答 子育て支援の充実が移住につながるかと考えるため、関係課と協議していきたい。また、子育て世代を対象とした起業セミナーも提案していきたい。

問 商工業活性化に向けた今後の取り組みを問う。

答 現在、小規模企業振興条例の制定に向けて準備を進めている。また、クラウドファンディングを活用したビジネスプランコンテスト等の実施を検討している。

きたい。

児童クラブ
多様な活動を実施

問 児童クラブと児童センターの利用実績を問う。

答 平成28年度実績で、児童クラブは延べ8万2937件、児童センターは延べ4348件の利用があった。

問 児童クラブでは生活の場を提供することのほか、どのような活動を実施しているのか。

答 行事が毎月計画されており、昔ながらの遊びなどを体験している。また、長期休暇中には音楽会や館外学習などを実施している。

問 外での遊びは実施しているのか。

答 安全確保が必要なことから、全ての児童クラブでは実施できていない。

問 土曜日にも開設しているが、利用状況を問う。

答 利用は少ない状況である。

問 児童センターの開設状況を問う。

答 開館時間は平日午前9時半から午後1時半までで、無料で利用できる。また、市外の方も利用できる。

※商品開発や事業開始のために、インターネット経由で不特定多数の人々から資金を募る仕組みのこと



矢野義典議員

公明党

A

平成30年4月から入院を無料化する

Q

医療費無料化 高校生(18歳)まで拡大を

問 6月定例会において、高校3年生(18歳)までの医療費無料化拡大を提言したところ、市から「前向きに検討していきたい」との回答があった。前向きに検討するということは、実施に向けて目標年度が設定されていると考えるが、見解を問う。

答 市長 子どもの医療費無料化は平成22年度から市単独事業として開始し、26年度に中学3年生まで拡大した経過がある。高校3年生(18歳)までの拡大についても検討を進めており、まずは入院分について30年4月から実施したいと考えている。

問 入院分については無料化が実施されることだが、通院分はどのようになるのか。

答 通院分については、財政負担など多角的な視点から検討していきたい。

問 本市では子どもの貧困対策として、教育支援、生活支援、経済支援および保護者の就労支援を実施しているが、担当課がそれぞれ異なる現状である。これを1つの担当課に集約すること、いわゆる窓口のワンストップ化を提言するが、いかがか。

答 各支援で専門的な要素が必要となるため、1つの担当課では対応できない。窓口のワンストップ化はせずに、各課の連携をさらに強化して対応していきたい。

問 子どもの貧困対策を進めるために、県が実態調査を実施したが、本市の現状はどのような結果だったのか。

答 現在、調査票を回収し、県に提出したところである。調査結果が市町村に報告されるため、結果を参考にしながら課題について取り組みたい。

市議会防災訓練を実施

議会トピックス



9月1日に市総合防災訓練と併せて、市議会防災訓練を実施しました。当日は「甲州市議会における災害発生時の対応要領」に基づき、議長が設置する市議会災害対策支援本部への参集を行いました。また、医療救護所設置・設営訓練の視察を行い、市職員から心肺蘇生法の講習を受けました。



子どもの貧困対策には窓口のワンストップ化が求められる

川口信子議員

日本共産党



10月から病児保育を開始したたんぼぼこども園の医務室。今後さらなる病児保育の需要が見込まれる

Q 病児・病後児保育の充実を

A 平成30年度から広域利用が可能となる

問 安心して働き、子育てできる環境を整えるために、病児・病後児保育の充実を提言するが、いかがか。

答 現在、千野保育園において病後児対応型と体調不良児対応型の病児保育を実施している。また、たんぼぼこども園においても、

体調不良型の病児保育を10月から実施している。なお、市内に病児対応型の保育施設はない状況だが、平成30年度から広域協定を締結した市町村による、保育施設の相互利用が可能となる予定である。

件数939件、実活動件数850件で、28年度は依頼件数849件、実活動件数745件であった。

総合事業に移行した介護サービスの状況は

問 平成28年3月定例会において、条例で定める設備基準を満たしていない児童クラブについて指摘したが、いまだに改善が見られない。改善に向けて施設の改修等に取り組む必要があると思うが、見解を問う。

答 施設を改修することは難しいが、早く基準を満たすよう努力していく。

問 ファミリーサポートセンター事業の取り組み状況を問う。

答 ファミリーサポートセンターでは、親の外出時等に一時的に子どもを預かる援助活動を実施している。平成27年度は依頼

問 介護保険について、平成29年3月から要支援1、2の予防給付のうち、訪問介護と通所介護が総合事業へ移行されたが、本市における実施状況を問う。

答 訪問介護、通所介護とも移行前と同じ料金で、同様の生活援助サービスを受けることができている。また、基準緩和により軽度な生活援助サービスの利用が可能となったため、介護予防や自立支援の促進につながると考えている。

問 特別養護老人ホームの入所基準が要介護1以上から要介護3以上に引き上げられたが、待機者数に変

化はあったのか。

答 要介護1以上が対象だったときは282人で、要介護3以上が対象となった現在は139人である。

問 5月に地域包括ケアシステム強化のための介護保険法等改正法が成立したが、主な改正点を問う。

答 ①現役世帯並みの所得のある者の利用者負担割合が3割になること。②実績評価を行い、要介護状態の改善など成果を挙げた自治体に国が財政的支援を行うこと。③要介護1、2に対する生活援助等の総合事業への移行が検討されていること。④介護医療院を創設し、介護療養型医療施設を平成35年までに廃止すること。⑤共生型サービスを創設し、高齢者と障害者が同じ事業所でサービスを受けやすくすることである。

問 子どもの医療費窓口無料化について、平成30年から18歳までの拡大を実施するのか。

答 平成30年4月から入院分について実施したいと考えている。通院分については、関係課と協議して進めていきたい。

※介護予防・日常生活支援総合事業の略で、市町村が中心となり地域の実情に応じたサービスを充実することで、効果的かつ効率的な支援等の実現を目指すもの



平塚 義議員

甲輝会



運営協議会からの
答申

訪問看護
ステーション
運営協議会への諮問内容は

民間への移行についてである

問 超高齢化社会が迫っている今だからこそ、高齢者福祉事業の充実が必要だと考えるが、見解を問う。

答 副市長 高齢者福祉のあり方や財政面など、総合的に検討していきたい。

問 訪問看護ステーションについて、運営協議会への諮問の内容を問う。

答 団塊の世代が75歳以上となる平成37年に向け、訪問看護の役割は大きくなっている。しかし、直営の訪問看護ステーションでは、規模が小さく対応に限界が生じている。また、行政改革からも民間への移行の検討が必要となった。そのため、庁内検討委員会で協議した結果、民間に開放し、民間活力を活用していくべきとの結論に至り、運営協議会に諮問した。

問 外部委託など福祉の丸投げによって、きめ細やかな福祉が提供されなくなることや危惧している。結果ありきで意見の誘導はなかったか、運営協議会における議論の内容を問う。

答 民間は効率化を求め、困難なケース等の対応が切り捨てられるのではないかという意見や、運営面を考慮すると民間への移行も理解できるなどの意見が出された。運営協議会の結論として、訪問看護ステーションの廃止にあたっては、市民の不利益とならないよう、市が支援を続けることを期待するとの答申を受けた。

問 民間へ移行する方向性が決まっているものを諮問すること自体がおかしいと思うが、考えを問う。

答 市長 以前から人員体制が厳しい状況にあり、サービスをしっかりと提供できる体制に立て直さなければならぬと考えている。

問 勝沼病院は地域住民の健康を守る施設であるとともに、高齢者のよりどころとして不可欠な施設である。平成31年度に山梨厚生会との指定管理契約が期間満了となるが、期間満了後の運営について、考えを問う。

答 将来にわたり医療提供体制を維持していけるよう指定管理者と協議していきたい。

組織機構の見直し案
再提案はあるのか

問 平成28年12月定例会において、行政組織機構の見直し案が提案されたが、議会の賛同が得られず廃案となった。今年度も行政組織機構の見直しを計画しているのか、考えを問う。

答 経営戦略に沿って、限られた財源のなかで効率的に修繕を進めていく。今年度はホテルの空調設備や噴水の修繕を予定している。

問 学校給食の無料化を実施する考えはあるのか。

答 財源の問題があるため、検討していきたい。



民間への移行について協議した訪問看護ステーション運営協議会

相澤俊行議員

希望の風



8月にはフランスハンドボール連盟の関係者が塩山体育館を視察した

Q 五輪合宿 施設改修費の負担は

A 市が全額を負担する

問 フランスハンドボール連盟が、本市をオリンピック事前合宿地として評価した理由を問う。

答 大会会場の東京に近いこと。体育館の面積が広く、男女同時に練習可能であることなどが評価された。

問 練習施設として塩山

体育館を改修する場合の費用を問う。また、費用はど

民間事業者で十分に対応できると考える根拠は何か。

こが負担するのか。
答 改修要望を聞いて間もないため、金額を提示することはできない。また、国や県の補助制度がないため、市が全額を負担する。

答 事業開設にあたっては人員、設備等の基準を満たす必要があり、直営であっても民営であっても、提供されるサービスは変わらないと考えるからである。

問 宿泊施設はどこを利用するのか。

本市の財政収支

黒字幅は減少の一途

答 ぶどうの丘を予定していたが、条件面で合意が得られず、笛吹市内のホテルになる予定である。

問 本市における一人暮らしの高齢者の人数を問う。また、団塊の世代が75歳以上となる平成37年には、どのくらい増加しているのか。

問 甲州市中長期財政推計について、平成27年度から37年度までの財政収支の推移を問う。

答 本市における一人暮らしの高齢者の人数を問う。また、団塊の世代が75歳以上となる平成37年には、どのくらい増加しているのか。
答 現在、65歳以上の一人暮らしの高齢者は2368人である。平成37年には100人増加し、2468人になると予測している。

答 歳入から歳出を差し引いた形式収支額は、平成27年度決算では10億1500万円、37年度推計では800万円となる。

問 市が訪問看護ステーション事業から撤退しても、

問 黒字幅が減少する要因は何なのか。

シオン事業から撤退しても、

答 少子高齢化など人口構造の変化に伴う市税収入の減少や、普通交付税の段階的縮減および一本算定への移行が主な要因である。

問 ふるさと支援基金の現在高と基金を充てた今年度事業の内容を問う。

答 ふるさと支援基金の現在高は平成28年度末で6億1297万円である。主なものとして、子どもの医療費助成事業へ8000万円、ごみ減量化・再生利用推進事業へ6600万円の基金を充てた。

問 指定管理者の見直しや施設の完全民営化の構想はあるのか。

答 現時点でそのような構想はない。

問 ぶどうの丘について、昨年度業績が下降した理由とその改善策を問う。

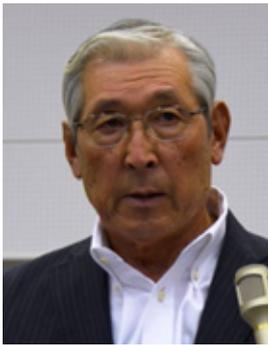
答 台風など天候に恵まれず来客数が減ったためである。市や県と連携してプロモーション活動を行い、誘客促進に努めていきたい。

問 文部科学省は、英語などを専門に教える専科教員の増員を柱とする、来年度予算を要求した。市としても専科教員を積極的に取り入れる考えはあるのか。

答 教育長 教員や財源の確保について、国や県に積極的に要望していきたい。

夏八木盛男議員

政和クラブ



Q 観光振興施策の効果は出ているか

A 目標を3年前倒しで達成した

問 より多くの観光客を迎え入れるために、本市ではどのような取り組みをしているのか。また、その効果は出ているのか。

答 オールシーズンの観光に向け、季節を先取りしたシティプロモーションを実施している。また、情報発信や市観光協会のホームページの充実など受け入れ体制の強化に取り組んでいる。こうした取り組みの結果、本市の観光入込客数は平成28年度に約353万人となり、観光振興計画で定めた31年度の目標客数を3年前倒しで達成した。

問 ラグビーワールドカップや東京五輪により、外国人観光客の増加が予想されるが、外国人観光客の受け入れについて、考えを問う。

答 外国語が堪能な観光ガイドを選抜し、インバウンドに対応できる観光ガイドを育てていきたい。また、

多言語に対応する観光パンフレットの作成や、スマートフォンで周遊ルート等の検索ができるマップガイドシステムを構築していく。

問 世界農業遺産認定への再申請に向けて、ビニールハウスなど近代的農業施設は規制されるのか。

答 生計を立てるために必要な施設として申請するので、認定の障害にはならないと考えている。また、こうした施設整備に対する規制は行わない。

問 醸造用甲州種ブドウの確保に向けた苗木の配布状況を問う。また、配布後の状況は把握しているのか。

答 平成28年度までに6377本を配布した。また、配布後に栽培農家や栽培地の調査を実施し、実態把握に努めている。

問 下水道事業開始から

30数年が経過したが、整備状況と今後の計画を問う。

答 現在、普及率は52.6割で、約1万5千人が利用している。今後、人口減少や経済状況の悪化が予想されることから、人口密度や経済性を重視して事業を進め、早期完成を目指していく。

災害危険区域への防災対応は

問 本市ハザードマップにおける危険区域の防災工事や水防改修の対応を問う。

答 現在、塩山上小田原地域、勝沼町深沢地域および大和町木賊地域で防災工事を実施している。また、各地域から要望を聞き、氾

濫の危険がある水路を計画的に改修している。

問 フランスハンドボールチームの五輪事前キャンプ地として本市が内定したが、受け入れに向けた今後のスケジュールを問う。

答 9月14日に基本合意に至り、今後は実施協定を締結する流れとなる。練習施設改修の予算計上は、担当課と協議して進めていく。

問 これを機に、より一層フランスとの交流を深めてほしいが、考えを問う。

答 姉妹都市のボース市を中心にフランスとの相互理解を深めるとともに、スポーツ交流やワイン産業を通じて友好交流を促進していきたい。



イベントに多くの人が訪れるなど着実に観光施策の効果が表れている（第64回かつぬまぶどうまつりの様子）

中村勝彦議員

政和クラブ



体育施設の相互利用など新しい広域連携のあり方が求められる

Q 小中学校の統廃合 正式に協議したのか
A 正式な議題として協議していない

問 小中学校の統廃合について正式に協議したのか。
答 教育長 総合教育会議や教育委員会では正式な議題として協議していない。
問 部活動について、県中体連は1校が競技の最低人数に達していても、最低人数に達していない学校と

合同チームを作り、県大会へ参加することを認めている。しかし、関東大会と全国大会は、最低人数に達していない学校同士の合同チームしか認めていない。上位大会に参加できる可能性を残すことは教育行政の役目だと思いが、見解を問う。

問 持っているのか。
答 解体費用に約2億500万円かかると試算している。現在、家庭系粗大ごみの積み替え場所として利用しているが、近隣住民からは恒久的な利用は認められないとの意見が出ている。

問 他市との連携について、観光分野における考えを問う。
答 峡東3市に甲府市を加えた4市で、周遊コースの設定等は共同で行うと申し合わせをしており、今後とも結束して新事業を展開していきたいと考えている。

問 教育長 部活動にひたむきに取り組む子どもたちのために、参加が認められるよう関東中体連と日本中体連に要望していきたい。
問 学校給食無料化の実施に向けた検討を進めていくことが大切だと思いが、考えを問う。

問 老朽化した市役所別館を倉庫として利用しているが、必要な施設なのか。
答 現在、水道資材や防災用品の保管場所として使用しているが、早めに取り壊しを検討していきたい。

問 平成30年度から広域協定を締結した市町村の施設の利用が可能となるため、近隣自治体と連携を図っていきたい。
問 スポーツ施設等においても広域連携し、相互利用できる体制の構築を提言するが、いかがか。
答 まずは近隣自治体と協議していきたい。

問 市環境センターごみ処理場の解体費用を問う。また、この施設について近隣住民はどのような意見を聞きながら検討していきたい。

問 市環境センターごみ処理場の解体費用を問う。また、この施設について近隣住民はどのような意見を聞きながら検討していきたい。

問 本市から西関東連絡道路へのアクセスを考慮した道路整備を進めてほしいが、いかがか。
答 実現に向けて引き続き県に要望していく。

※中学校体育連盟の略



野尻陽子議員

甲州世直しやるじゃん会

Q 本市財政の将来負担額は

A 総額は400億円超である

問 本市における将来人口推計を問う。

答 平成22年度国勢調査人口3万3925人を基に算出すると、23年後に2万7733人になると予測している。

問 人口の減少は明らかであり、将来の負担を少しでも減らす努力をしてもらいたい。借金など将来の負担はどのような状況になっているのか。

答 一般会計が将来負担する見込み総額は、平成28年度末で401億4915万2000円である。

問 県内他市と比較した本市の将来負担比率を問う。

答 平成27年度決算に基づく将来負担比率は129・0割であり、県内13市の中で2番目に高かった。

問 合併特例債は今までどのような事業に使われてきたのか。

答 本市の合併特例債発

行可能限度額は、事業分として126億9910万円で、執行率は99・3割である。今までに充当した主な事業は、学校給食センター建設を含めた学校関係施設の改修・整備等事業に27億9760万円、農林業等の改良整備等事業に26億1020万円、市道・橋梁の改良整備等事業に20億8380万円、本庁舎および支所庁舎の改修等事業に14億5250万円などである。

将来に負担を残さない
下水道事業を

問 下水道事業は巨額の借金を抱えており、将来に負担を残さないためにも、下水道区域の縮小と合併浄化槽区域の拡大を提言してきたが、どのような状況となっているのか。

答 平成19年度には下水道計画区域内に市町村設置

型合併浄化槽を導入し、25年度には下水道区域を136ヶ所縮小して合併浄化槽区域を拡大した。下水道の見直しについては、今後の維持管理などを見据えて柔軟に対応していきたい。

問 下水道事業の起債残高を問う。

答 平成22年度末の起債残高は約106億円で、そこから毎年3億5000万円ずつ減っており、28年度末は87億8931万円となった。今後も同程度の縮減を見込んでおり、順調にいくとあと23年ほどで完済する。

問 簡易水道事業の起債残高を問う。

答 平成28年度末の起債残高は約26億円である。

問 琴川ダムから受水している水は、既に浄水されているため単価が高額である。それにもかかわらず、受水が続けていくのか、考えを問う。

答 琴川ダムからは年間約204万トンを受水しており、主要な受水水源となっているため、今後も続けていく。

問 訪問看護ステーションが民営化された場合、社会福祉協議会が運営を引き受けるのか。

答 先日、社会福祉協議会から訪問看護ステーションの開設に向け、準備に入りたいとの申し出があった。市訪問看護ステーションの機能を継承していけるよう、施設の開鎖手続きと並行して準備を進めていきたい。



生活環境の改善や河川等の水質向上のために下水道と合併浄化槽は欠かせない

※自治体が将来負担すべき実質的な負債額が、その自治体の財政規模に占める割合を示したもの

総務

県外通学者に対して

定期券の購入費用を補助

総務常任委員会を9月13日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

間接税の割合を調整する目的で改正する。

券購入費補助制度について、どのように人口対策につながるかと考えているのか。

■市税条例等の一部改正
問 法人市民税の税率を引き下げる目的を問う。

■平成29年度一般会計補正予算(第2号)
問 病児・病後児保育を実施する保育施設の増加に伴い、子ども・子育て支援の交付金は増額となるが、この交付金は当分の間交付されるものなのか。

問 できるだけ市内から通学してもらうことで、転出の抑制につながるかと考えている。

■平成29年度一般会計補正予算(第2号)
問 子育て支援新制度に基づく子育て支援新制度に基づくものだが、制度がある限り交付は続くと思われる。

問 県外通学者への定期券購入費補助制度について、どのくらい利用があると想定しているのか。

問 25人を予定している。補助を受けるための条件に所得制限はあるのか。

■平成29年度一般会計補正予算(第2号)
問 過去に実施した地籍調査の誤りが4件判明したことだが、場所はどの

問 所得制限はない。

問 過去に実施した地籍調査の誤りが4件判明したことだが、場所はどの

なのか。

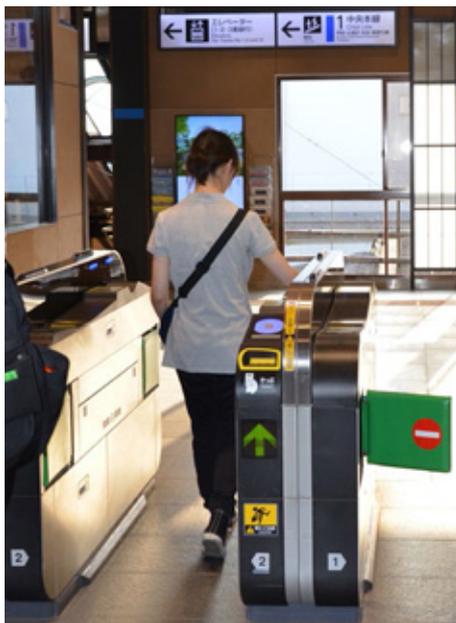
■牛輿地域、西野原地域、菱山地域、初鹿野地域の4カ所である。

問 地権者から指摘を受けて誤りが判明したのか。

■地権者が自身の土地を登記する必要が生じた

め、市が地籍調査を行ったところ、赤道が見つかったためである。

- 総務常任委員会
◎相澤俊行 ○中村勝彦
岡 武男 岡部紀久雄
矢野義典 丸山国一



県外通学者の定期券購入補助により転出抑制が期待される

教育民生

オリンピック事前キャンプ地誘致

仏ハンドボール連盟と基本合意

教育民生常任委員会を9月12日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■平成29年度一般会計補正予算(第2号)
問 児童福祉費について、扶助費215万8000円

問 児童福祉費について、扶助費215万8000円

の内容を問う。

■DV被害に遭った保護者および児童が、安全な避難先に移動するための費

用を補助するものである。

問 社会福祉総務費について、人件費が減額となった理由を問う。

■勝沼支所の地域振興担当と市民福祉担当が兼務となったこと。また、育児休業から復帰した職員が異

動したためである。

問 診療所特別会計繰出金が913万円減額となった理由を問う。また、今後増額する予定はあるのか。

■診療所は事務長、事務職、看護師2人という体制だったが、事務職と看護師1人が異動したためである。また、診療体制が整う

※公図に地番が記載されていない土地の一つで、道路だった土地のこと。読みは「あかみち」



オリンピック事前キャンプ実施にかかる基本合意に向けた打ち合わせの様子

4カ国語に対応する

観光パンフレットの作成に着手

建設経済常任委員会を9月12日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■平成29年度一般会計補正予算(第2号)

問 産地パワーアップ事業の目的を問う。また、施設整備にかかる補助の内容を問う。

答 農業の高収益化に向けて支援を行うことで、収穫の増加を図るものである。簡易雨よけハウスの設置やこころ柿乾燥機等の購入

費用に補助を行い、補助率は2分の1である。

問 4カ国語で市内の観光パンフレットを作成することのだが、活用方法を問う。

答 市内の施設への設置や観光キャンペーンの際に活用していきたい。

問 4カ国語への翻訳は一定の技術を有する企業でないに対応できないと考える。翻訳から印刷までを一つの企業に委託するのか。

答 翻訳から印刷まで一括して受託できる企業に発

10月以降に増額補正する予定である。

問 オリンピック事前キャンプ地誘致委託料400万円の内容を問う。

答 9月にフランススハンドボール連盟と基本合意に至ったが、今後詳細を詰める際に渡仏するための費用で、3人分を想定している。

■国民健康保険事業特別

会計補正予算(第1号)

問 償還金の内容を問う。

答 平成28年度に概算交付された療養給付費等交付金を実績に基づき清算し、超過分を返還するものである。

■診療所事業特別会計補正予算(第1号)

問 平成28年度の診療報酬額を問う。

答 約4634万円である。

■介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

問 地域支援事業の職員体制を問う。

答 保健師5人、社会福祉士3人、事務職2人という体制である。

教育民生常任委員会

◎高畑一幸 ○川口信子

平塚 義 古屋匡三

古屋 久

の丘事業会計補正予算(第1号)

問 ぶどうの丘に隣接する土地の購入目的を問う。

答 雑木林となっており、景観を確保する観点から整備を行うためである。

問 土地の購入に伴い、

新たにホテルを建設する意向はあるのか。

答 現在、計画はない。

建設経済常任委員会

◎黒川武雄 ○野尻陽子

廣瀬宗勝 夏八木盛男

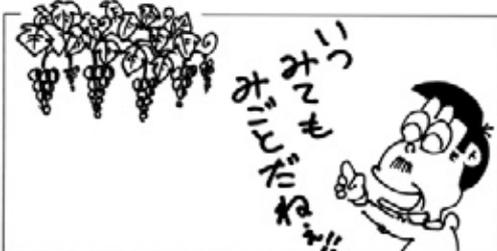
日向 正 廣瀬明弘



従来の観光パンフレット。新たに4カ国語で作成される

表紙の写真

10月7日に開催された第64回甲州市かつぬまぶどうまつりのクライマックスには鳥居焼きが行われました。先人たちへの思い、収穫への感謝、それぞれの気持ちが込められた聖火が護摩木に灯されると、夜空を焦がすように美しく燃え上がりました。



12月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
12/3	4	5	6	7	8	9
		本会議 (開会)				
10	11	12	13	14	15	16
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
17	18	19	20	21	22	23
	予備日	常任委員会 (教育民生 建設経済)	常任委員会 (総務)		本会議 (閉会)	

○午前10時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください。)
○傍聴される方は市役所本庁舎3階へお越しください。

矢野義典議員 逝去

矢野義典議員(65歳)は10月13日に逝去されました。

矢野氏は平成15年4月に旧塩山市議会議員に初当選し、副議長、議会広報編集委員長等の要職を務めました。また、平成28年2月から29年2月まで第10代の議長を務めるなど、市政並びに議会運営に大きく貢献されました。ここに生前のご功績を称え、心から哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。



こちら編集室

■本号は決算審査があった1年のまとめの号であり、第3期甲州市議会最後の号でもあります。次号からは新しい議会構成でお届けすることになります。分かりやすい議会広報になるよう努力を続けていきます。11月5日から12日は市長と議員の選挙期間で、今後の甲州市をどのようにしていきたいか、皆様に判断を頂く大切な期間です。騒がし

くありませんがどうぞよろしくお願いたします。

季節の変わり目で体調管理には気を付けて、どうぞご自愛ください。(中)

■議会広報編集委員会

議長(兼委員)

編集委員長

副委員長

委員

委員

委員

委員

委員

- 丸山 国一
- 廣瀬 明弘
- 廣瀬 義
- 平塚 宗勝
- 廣瀬 久
- 古屋 宗勝
- 夏八木 盛久
- 高畑 一幸
- 中村 勝彦

甲州市ホームページで
議会広報のバックナンバーが読めます。

甲州市ホームページのトップ画面上の「甲州市議会」をクリックし、続いて「議会広報」をクリックしてください。



議会広報バックナンバー